

## 令和8年度「論理国語」シラバス

| 科目名         | 必修・選択                                | 単位数 | 類型 |
|-------------|--------------------------------------|-----|----|
| 論理国語        | 必修                                   | 2   | 共通 |
| 教科書<br>副教材等 | 論理国語（数研出版）<br>語彙力をつける入試漢字 2600（筑摩書房） |     |    |

### 1 学習目標

それまでの学習内容を発展させ、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。それとともに、近・現代の文学や価値観に対する理解を深められるようにする。
- (2) 論理的に考える力を身に付けたり、文章構造や展開方法を理解したりすることを通し、他者と関わり伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 学習概要

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、批判的に考える力を伸ばしていく科目です。創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、高めたりすることを目指しています。近現代の論理的な文章や現代社会で必要とされる実用的な文章を読みながら、表現する力を高めます。

### 3 学習方法

#### (1) 授業への取組

授業は、教材について読み考え記述し、そして発表する場です。教師が板書することをノートに書き写すだけでは意味がありません。生徒の皆さん一人一人が積極的に授業に参加することが期待されています。

#### (2) 家庭学習

授業で扱う教材については事前に通読し、読めない漢字や意味の分からない語句については辞書で調べておきましょう。事前に通読・意味調べ等をするのとしめないのでは、理解に大きな差が生まれます。また、語彙力と読解力を強化するためには、日常的に活字に触れることが大切です。画像や動画といった視覚刺激に慣れすぎると、思考や発想が鈍くなります。ぜひ日々の読書を日課としてください。

### 4 評価について

#### (1) 評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①、③
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

#### (2) 評価規準

|      | 知識・技能（①）                                                               | 思考・判断・表現（②）                                                               | 主体的に学習に取り組む態度（③）                                                         |
|------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 評価規準 | 生涯にわたる現実社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使用しようとしている。 | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者と伝え合う力を高め、思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

## 5 学習計画

| 学期          | 単 元 名                  | 学習のねらい（内容のまとめりごと）                                                                                                                                                   | 考查等   |
|-------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 一<br>学<br>期 | 「手の変幻」<br>（清岡卓行）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。</li> <li>逆説的な表現の内容を理解する。</li> </ul>                                          | 中間考查  |
|             | 「『内的成長』社会へ」<br>（上田紀行）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。</li> <li>哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。</li> </ul>                                                  | 期末考查  |
| 二<br>学<br>期 | 添削の思想<br>（外山滋比古）       | <ul style="list-style-type: none"> <li>「添削」「推敲」についての筆者の考えと、近代芸術の問題点の内容をとらえる。</li> <li>「添削」の役割について理解する。</li> </ul>                                                   | 学力テスト |
|             | 「未来世代への責任」<br>（岩井克人）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。</li> <li>「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。</li> </ul>                                                          | 中間考查  |
|             | 「消費されるスポーツ」<br>（多木浩二）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をとらえる。</li> <li>文章中の比喻表現や強調表現の内容を理解する。</li> <li>文章内容をWEB記事の内容と関連づけて考察する。</li> </ul> | 期末考查  |
| 三<br>学<br>期 | 「日本語は非論理的か」<br>（野矢茂樹）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。</li> <li>筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例とともに自分の意見を論述する。</li> </ul>                                | 学年末考查 |
|             | 「『安楽』への全体主義」<br>（藤田省三） | <ul style="list-style-type: none"> <li>人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。</li> <li>筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。</li> </ul>                                   |       |